

1 対象年次、単位数、使用教科書

1～4年次 2単位 教科書「新編国語総合」東京書籍

2 科目の目標

現代文・古文・漢文の様々な文章に触れ、国語の基礎となる読解力を身につけ、他者の考え方や感じ方を理解する力と自己を見つめ直すことのできる知性を育てる。

また、詩・和歌・短歌・俳句などの韻文教材の暗唱を重視して言語感覚を磨き、他者への共感的な理解力を深め、自己を理解し、表現する能力を伸ばす。

3 評価規準（何を評価するか）

通信制課程での学習の大きな目標「自学自習」は主体的に学ぶことができる人間の育成に他ならない。学ぶことに主体的であることは高校卒業後、社会人・家庭人として生きていく上でも社会の様々な題材から何かを学び取ろうとする人間の基本である。この観点から平成17年度に教科書・学習書を活用して丁寧継続した学習を進めることで完成する学習報告課題に全面的な改訂を行った。そこで学習報告課題によって平素の主体的な学習への取り組みの姿勢を評価する。レポートの点数にくわえて「主体的な学習と学習への真摯な取り組み」がなされているかも評価する。

4 評価基準（どんな方法で評価するか）

主体的な学習への取り組みは一時的なものではなく反復・継続することが求められる性質のものである。そのため知識や思考が身に付くように、学習を継続し反復学習したかを試験における点数によって5段階の到達度に分けて評価する。

その評価が可能になるよう試験では、レポートで学習した内容をおもに出題する。

5 試験範囲と試験による評価基準

言語に関する基本的な事柄から、内容の理解・登場人物の心理理解・文章や韻文の読解などレポートで学習した範囲内の発展的な問題まで出題し、学習への取り組みと理解度を5段階で評価する。

標準提出時期に遅れて提出したことをマイナス評価にはしない。

出席時間数が必要最低時間数であることをマイナス評価にはしない。

6 スクーリングの目標・内容・計画

生徒の学習の進捗が様々であることを考慮し、質問を受け付け個別指導を行う。

また、年度当初や生徒の学習状況に応じて、レポートの重要な項目を講義形式で指導する場合もある。

報告課題・提出時期	指導目標
現代文 随想 「ルリボシカミキリの青」 福岡伸一  ＜四月下旬＞	①筆者のものの見方や考え方、読者に対する呼びかけを読み取る。 ②筆者の体験談をもとに、自分の興味のあることについて考える。 ③日常生活を振り返りながら、充実した時間を得るためには、何か一つ好きなことを見つけ、ずっと好きであり続けることが大切だということを読み取る。
現代文 小説 「とんかつ」三浦哲郎  ＜五月中旬＞	①小説に表現された世界を理解する。 ②登場人物の心理を捉える。 ③作者の人間に対する考え方を読み、他者と自己に対する理解を深める。
古文 和歌 「万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集」  ＜六月上旬＞	①修辞技法を中心に和歌の基本を理解する。 ②定型表現にこめられた人間の心情を読み取る。 ③「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の歌風の違いを学び時代の変化と人間の感受性・価値観の変化を理解する。 ④歌を暗唱しリズムや言葉の感覚を身につける。 ⑤短歌俳句へ学習を継承する。
漢文 漢文の基礎・故事成語  ＜七月下旬＞	①漢文読解の基本を理解する。 訓読の基本、返り点、再読文字 ②故事成語「守株」を題材に書き下し文・現代語訳など漢文読解の基本を理解する。また、内容を理解し、この話にこめられた考えを読み取る。 ③漢文学習の基礎を国語総合-1の漢詩の取り組みにつなげて学習内容の定着・進展を図る。
詩・短歌・俳句  ＜八月上旬＞	①詩の形式を理解し、詩の内容を読み取る。 ②短歌・俳句の表現を理解し、内容を読み取る。 ③詩や短歌・俳句を暗唱し、リズムや韻文独特の言語表現を味わう。 ④自分の気持ちや考えを作品に表現してみる。
古文 歌物語 『伊勢物語』より「芥川」  ＜九月上旬＞	①これまでの学習を発展させてやや長い物語を正確に読み取る。 ②登場人物の心情を読み取り時代を経て不変な人間の愛情について考える。 ③物語の主題を象徴する和歌を理解し、歌にこめられた主人公の心情を考える。